

田辺市東陽の市文化交流センター「たなべる」でこのほど、中学生がお薦めの本を紹介

中学生が本の魅力語る

田辺でビブリオバトル



お薦めの本のあらすじや登場人物について、観客に紹介する栗栖果暖さん(田辺市東陽で)

紹介、観客の投票で最も読みたくなった本を選ぶ「ビブリオバトル」が開かれた。田辺中学校3年生、栗栖果暖さん(14)が紹介した「一瞬の風になれ」が、最も読みたい「チャンプ本」に選ばれた。センター内の市立図書館が主催。田辺中の1年生と3年生の計5人が5分間で一冊の魅力を発表し、約20人が投票した。今回は小説や絵本、電車にまつわる実用書と、さまざまな種類の本がそろった。生徒は本を掲げながら、あらすじや登場人物の特徴、印象に残った場面などを紹介。文章の一部を読み上げ「少年の成長に注目」「楽しい絵でつづられた深い内容が魅力」などと話した。発表後、観客からの質問にも答えた。栗栖さんは「緊張したけど、紹介した本の物語の良さを分かってもらえてうれしい」と話した。

同市新庄町のビッグ・ユードでも中学生を対象にした「ビブリオバトル」(県立図書館主催)があった。中学生の部で日高川町の美山中学校2年生、鉢本雅さんが紹介した「殺人者の涙」がチャンプ本に、高校生の部では田辺工業高校2年生、松本瑠果さんが紹介した「かがみの弧城」がチャンプ本に選ばれた。

栗栖さんら3人は9日、和歌山市の県立図書館で開かれる決勝大会の出場権を得た。